
春夏秋冬～

ギン狐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

春夏秋冬

【Nコード】

N3415B

【作者名】

ギン狐

【あらすじ】

詩をまとめた短篇集です。自分の思ってる事など…自分自身の事などをまとめたって言うか掻き集めました。恋愛面は特に！！！！！！

春土桜（前書き）

読んでくださると嬉しいです。そして、共感してくださるともっと嬉しいです！！

春土桜

春。

＊
＊
＊
＊

桃色の桜が
ひらひら
舞っていた。

可憐に空中を
舞っていた。

ねえ…

春の香りがするよ。

甘く
穂のかな

春の香り。

一呼吸する度に

体に入ってくる

心地の良い風。

桜

サクラ

櫻

ぶわ、と風が吹けば
桜は飛び立つ

空中へと——……

ひらひら旅にでる。

舞っている桜は

カノンの音色を

奏でているかの様に

リズム良く

私の元へと
舞い降りる。

『キレイね』

そう言い
口をポカリと開け、
上を見れば
桜はひら、と
口元へ。

それは

『ありがとう』
と言ってる様だった。

お礼を言うのは
私だよ。

毎年 キレイな桜を
開花させてくれて
『ありがとう』

桜を見ていると
幸せな気分になるよ。

だから、
キレイな桜を
咲かせてね。。。。

来年も また

来年の春まで
待つから…咲かせてね。

桃色の花々を。

ひらひら、
花びら舞ってゆく。

それは

桜の交響曲。

「春土桜」

**a
n
o
t
h
e
r

w
o
r
l
d**

一つはこの地球^{ほし}

じゃあ…

もう一つは…

*
*
*
*

知
っ
て
た
か
い
？
？

世界は二つあるんだよ。

現在の世界
と
もう一つ別の世界。

そう、もう一つの世界。
another
world.....

現在より

ちよつと

時間がずれてる世界。

それが
もう一つの世界。

僕はそう思うよ。

そんなモノあるわけない？

一般的には

そうかもしれない。

でも

わからないよ。

世界は広いんだから。

あるかもしれない
し
ないかもしれない。

別に

信じなくても良いんだ。

信じるも
信じないも
君次第だから。

でも、僕は
信じるよ。

なんでか？って

そんなもの

簡単さ。

もう一つの世界って

なんか神秘的だろう。

ただ、それだけ。

現在の世界で

此処まで広いんだ。

もう一つの世界あったら

もっと広いだろう。

もっと。

もっと。

広いだろう。

ほら、神秘的だ。

僕は信じるよ。
もう一つ世界。

a n o t h e r

w o r l d . . .

君はどうだろう？

「a n o t h e r
w o r l d
」

紙飛行機

さあ…

遠くへ旅にいつて…

まだ見ぬ世界へと。

*
*
*
*

真っ白な紙に

君への思いを
綴った。。。。

それは
手紙のようで

でも
手紙とは違って

君への思いが
本心として書いてある

そんなモノ。

くつきりと
折り目のついた

紙飛行機を作った。

空 高く 飛べる
紙飛行機を。

遠くにある
まだ見ぬ世界まで
行ける様な

紙飛行機。

私の

手から

指から

スーと
滑らかに 飛び立つ

広大な空へと――……

あ、という間に

あんな遠くへ。

もつと。

もつと。

遠くへ。

君に届くまで

遠くへ。

いつも…

恐くて

恥ずかしくて

言えないこと…

隠さず書いてあるよ。

その 紙飛行機に。

君への思いが

綴ってあるよ。

言いたくても

恐くて言えない

このキモチ。

押さえきれなくなった

このキモチ。

紙飛行機に包めたよ。

そこにウソなんて

一つもないよ。

だから

君まで届いてほしい。

伝えたいから。

本当は口で言いたいけど
恐いの。。。。

臆病者と罵られても
今の私には
これが精一杯。

ほらね、
君への思い
綴ってあるでしょ？

「大好き」
ってキモチ
と
もう一つ……

ねえ
君に届いた？？

恋心

人を好きになるのは
どうして
こんなにも
苦しいのだろう。

*
*
*
*

あなたを見てるとね、

胸が締め付けられて
握り潰されそうで
苦しいの。

それでも

恋しいの。。

苦しくて
苦しくて
悩んで
辛くて

こんなキモチ忘れた
いって…

でもね、
ダメだった。

一度
揺らいでしまった
心は

簡単には
元に戻らないの。

もう、

諦めることなんて

出来ないの。

だから、
苦しいの。
辛いの。
悩むの。

でもね、
あなたに
笑いかけてもらったら

そんなの直ぐに
吹っ飛んじゃう。

それで、

とくん。

どきん。

って

鼓動が速くなって

嬉しくて
嬉しくて
嬉しくて

嬉しさが
押さえきれなくて

まるで、
りんごみたいに

頬が
赤く染まっちゃうの。

だから、かな。
忘れたくても

忘れられないの。

あなたの笑顔が

あなたの優しさが

あなたが……

ね？

一度

愛してしまったら

元の自分には
戻れないの。

だから、
苦しいの。

だから、
胸が痛いの。
だから、
恋しいの。

あなたが

「好き」
だから。。。

「恋心」

理由

好き。
大好き。

＊
＊
＊
＊

好き。

この
たった一言は

とても大切なモノ。

はかなく
切なく
脆いもの。

「好き」

ただ、それだけ。

理由なんてない。

スキだから好きなの。

理由なんてない。

それじゃあ…

ダメかな??

好きって言うのは

簡単で

実はとっても

：難しいの。

その、たった一言が

どうしても出ないの。

それと同じで

好きっていう理由が

口では表せないの。

とっても難しくて…

口ではうまく
伝えられないの。

それぐらい
好きっていう
キモチは大きいの。

手や体では
表せないくらい

好きっ…

大好きなのっ！！！！！！！！

私がどれくらい
あなたのことが好きか
わかった？？

でもね、

こんなに好きなのに

やっぱり

好きっていう理由が
ワカラナイの。。。

あなたのことが
好き

ただ、それだけ。

他に理由なんてない。

だって、
いつの間にか
好きになって

あなたの
嫌いなところも
全部
好きになって…

大好きになったんだもん。

でもね、
よく考えたら
これが…もう
理由なんじゃないか

って…思ったの!!

「理由」

散った恋（前書き）

ああ、哀しき日々

散った恋

ああ…切ないよ。
苦しいよ。。。。

＊ ＊ ＊ ＊

好き…。
だから、勇気でした。
私の精一杯の勇気。
素直さを…。
あなたに届けた。

待ってる間、
苦しくて
苦しくて
辛くて

辛くて

涙がでました。

でもね、

あなたからの

思いを聞くと…

涙は止まるどころか
流れてゆくばかり。

ごめん、

それが答え。

辛いよ。

苦しいよ。

消えてしまいたい…

なんて、

思った。

そんな自分が
惨めで。

どうしよう。
苦しい。

どうしたら
泣かなくてすむ？

でもね、
心のどこかで
苦しくて
辛いけど
スッキリした気持ち
あるんだよ。

言えたから？
聞けたから？

苦しい

辛い

それでも

嫌いにはなれなかった。

好きだから

好きだったから

一度 好きになってしまったら：

前のようには
戻れないの。

だから、今の未練

紙に書いて

飛行機にして
飛ばしたの。

さようなら。

私の未練。

さようなら。

好きだった君。

まだ好きだけど、
ね。

さようなら。

あなたを好きだった私。

ありがとう。

ありがとう。
さようなら。

でも
やっぱり
ありがとう。

あなたの
私にむけた
優しさが好きでした。

今ではそれが
辛くなる原因だけど。

あなたの笑顔が
好きでした。

今ではそれが
涙の原因だけど。

こんな気持ちに
してくれたあなたへ
ありがとう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3415b/>

春夏秋冬～

2010年10月9日01時19分発行